広報 かじき

全家庭に、もれなく配布

第203号

47.11.6発行

発行　鹿児島県姶良郡加治木町役場

編集　総務課文書係

印刷　吉屋印刷所

冬が立つころ

常緑樹（ときはぎ）に銀杏孤高の大裸　牧笛郎

▽庭の落葉も日ごとに数を増しほうきを持つ手に風の冷たさが感じられます。七日は「立冬」ですから暦のうえで冬が立てば、霜や寒さはすぐやってきます。

▽二十六日から「秋の全国火災予防運動」が始まります。暖かい部屋は何といっても気分の落着く一家団らんの場ですが、換気と火気には、くれぐれもご用心。ガス中毒や不慮の災害に合わない工夫を家族で考えたいものです。

▽加治木郵便局舎も十二月一日落成、四日から業務開始。それにしても終日噴煙が絶えない桜島の活動と降灰が気になるこのごろ、大事にいたらねばよいが……。

秋風に散つた落葉（天神・児童公園で）

■ メモ　人口／19.319　男／9.129　女／10.190　世帯／6,065　（10月1日現在）

天皇皇后両陛下ご来加

加治木駅からご発着

鹿児島国体にご臨席

鹿児島県下で開かれる第二十七回国民体育大会に臨まれた天皇・皇后両陛下は、さる十月二十日特別機で鹿児島空港にご到着。お車で溝辺町の高屋山陵にご参拝のあと、加治木入りされました。車からお出になった両陛下は、駅前広場に集まった多くの町民に手をあげておこたえになり、とくに皇后さまは、日の丸の小旗がふられ、あちこちでおこる「万歳」に笑みをうかべ会釈されていました。

両陛下は待合室で諏訪の赤崎ツネさん（九六）ら高齢者や曽木町長などの奉迎をうけられ、一番ホームの特別お召列車（五両編成）にお乗りになり、鹿児島市へおたちになりました。

次いで十月二十五日、県下の各国体会場に臨まれた両陛下は奄美大島へご出発のため、再びお召列車で加治木入りなさいました。菊のご紋と日の丸をつけたC56型機関車重連のお召列車が上り線ホームに到着。両陛下は上り線ホームから急な跨（こ）線橋を渡られてホームや待合室での奉迎におこたえになったあと、お車で溝辺町へ向かわれました。

二度の両陛下の加治木町ご通過で、町民の話題は陛下の元気なご様子、皇后さまがお年を召していないこと、予想外に大きくてりっぱなお車など、いろいろの話題を残したようです。

いっぽう、お召列車は町内や県内、遠くは東京あたりからのSLファンで駅の構内はたちまち、お召列車の撮影大会に早変り。SLが引くお召列車は、これが最後…とあってか、国鉄も機関車の黒煙や蒸気を吹き出したり気笛を鳴らしての大サービス。SLファンの要望にこたえていました。

両陛下は、今回のご来鹿でとくにお召列車をご利用になりましたので、加治木町にはとくに深いご印象をおもちになっておかえりのことと思います。

護警や奉迎のみなさま、ご苦労さまでした。

町民の奉迎にこたえられる皇后陛下（9月25日）

加治木駅構内はSLお召列車の撮影大会に早変り

◁◁◁◁◁◁◁ 国体27回の歴史 ▷▷▷▷▷▷▷

昭和二十一年京都を中心に滋賀、大阪、奈良、兵庫の各府県で開かれたのが始まり。当時は終戦直後で、飢えと騒乱のさなかであったが、かつての明治神宮体育大会のような全国的規模の競技大会を開き、国民に希望と勇気を持たせたらーという声が起こり、スポーツ関係者の情熱と努力が実を結んだ。

第一回大会には五千三百七十七人が参加、ついで第二回大会は地方開催の要望が多く金沢市を中心に開催された。以後回を重ねるごとに盛りあがりをみせ、第五回大会（愛知県）からは天皇・皇后両陛下が正式にご臨席された。

第六回大会（広島県）からは全国をブロック別に分け交互開催、第八回（四国全県）には沖縄からも選手が初参加した。

第十回大会（神奈川県）からは全国を六ブロックに分け輪番で行なってきたが、第十八回大会（山口県）からは全国を三つのブロックに大別、西日本、東日本、中部日本の順で開催している。

ことしの鹿児島国体で第二十七回目。来年は千葉県で開催される。

3つの市と16町村でつくる

鹿児島　広域市町村圏

などを可決・承認

□ □　9月町議会から

定例第三回町議会（九月議会）は、さる九月二十六日から十月三日までの八日間、町議事堂で開かれました。

今回は一般会計の補正予算一千三百十二万九千円の追加や関係条例の一部改正、それに鹿児島広域市町村圏協議会の設置など、十五の議案について審議を行ない、それぞれ原案どおり（一件は修正可決）可決、認定しました。

おもなものを、次にお知らせします。

町立幼稚園の保育料減免の額など決める

町立幼稚園の保育料などは、昭和四十五年二月に制定された〝町立幼稚園保育料等の徴収条例〟に基づいて納められていますが、今回は保育料等の減免について一部を改正しようとするもので、次のように改められ、ことしの六月一日にさかのぼって適用することとなりました。

▽生活保護を受けている世帯やその年度の町民税の所得割税額が非課税の世帯は、年額一人について一万円以内が減免されます。

▽また、町民税の所得割額が一万円以下の世帯は、年額一人について五千円以内が減免されます。

▽特別の理由があると認める場合はその全部、または一部が減免されます。

図書館協議会を設置委員の定数は五人で

町立図書館の運営事項などを審議するために、図書館協議会を置くことになり、委員の定数や任期そのほか必要なことを定める条例を新しく制定したものです。

委員の定数は五人で任期は二年町教育委員会が任命することになります。

町営弓道場の設置管理などの新条例

町営弓道場が完成したので、道場の設置、管理などについての事項を、この条例で定めるものです

弓道場を使用する場合は、町教育委員会の許可をうけることになります。

町水道事業会計の46年度決算を認定

昭和四十六年度の町水道事業会計の決算書は、町監査委員（溝口宏二・宮田実）の監査意見とともに町議会に提出され審議された結果、同決算は正しいものとして、議会から認定されました。

加治木など広域市町村圏が発足

鹿児島市を中心として加治木など三市・十二町・四村では広い範囲で今後ものごとを考え、諸事業をやり、地域の発展をはかろうとして「鹿児島広域市町村圏」の準備を推し進めていました。

このほど自治省の認可もあったので、諸計画の実施などについて今後、各市町村間の連絡調整をはかるうえから、正式に鹿児島広域市町村圏協議会を設けて発足するもので、その設置について関係市町村議会の議決を求めたものです

鹿児島広域市町村圏の関係市町村はつぎのとおりです。

▽鹿児島市、串木野市、垂水市

▽加治木町、姶良町、蒲生町、溝辺町、市来町、東市来町、伊集院町、松元町、郡山町、日吉町吹上町、喜入町

▽吉田村、三島村、十島村、西桜島村

錦江小西線を町道に編入

錦江小学校の西門から郁文館住宅前を経て国道十号線に通ずる、錦江小西線（延長百三メートル）が、町道に編入することを認定しました。

公営住宅二十六戸蔵王団地横に建設

公営住宅（一種・二種）の工事請負契約が業者との間に締結したので、町議会の議決を求めるものです。

二十六戸の公営住宅は口ノ町にある県営住宅（蔵王団地）の横に建設されます。

▽一種住宅（簡耐平屋建）十二戸

請負金額一千二百八十九万円

町内錦江町　二見建設工業

▽二種住宅（簡耐平屋建）十四戸

請負金額一千三百四十万円

町内仮屋町　大英建設

一千三百十二万円追加補正予算のおもなもの

今回の一般会計の補正予算は、一千三百十二万九千円が追加になり、これで四十七年度の一般会計の予算総額は九億六千四百八十九万九千円となりました。予算追加のおもなものは、次のとおりです

▽交通安全施設工事百六万円。

▽農地費三百二十三万七千円（楠ケ迫地区農道工事ほか）。▽欄干橋線道路改良費百八十万円。▽がけ地近接危険住宅の移転補助二百万円（六戸分）。▽幼稚園就園奨励費補助ほか百五十四万五千円。

▽農業用施設災害復旧百六十二万六千円（伊部野橋梁、須元農道）

11月の当直医

3日	岩崎医院	（本町）
5日	大川医院	（錦江町）
12日	平山医院	（本町）
19日	神田橋医院	（本町）
23日	玉利病院	（本町）
26日	壱岐医院	（諏訪町）

今月の納期　国保税（第四期分）

秋の全国火災予防週間

慣れた火にも新たな注意

11月26日 ←→ 12月2日

本年も、恒例の秋の全国火災予防運動が11月26日から12月2日まで、全国いっせいに行なわれます。

とくに本年は、火災による死者が増加しているので、百貨店、ホテル、その他多数の人の出入りする場所における安全避難、また各家庭においては、日常使用している火気についての防災の点検などをとりあげ、火災予防思想のいっそうの徹底を図ることとしています。

△統一標語

「慣れた火にも新たな注意」

△実施期間

11月26日から12月2日まで。

△全国いっせい実施事項

①百貨店、地下街、旅館、ホテルなどにおける安全避難——

さる5月13日に発生した大阪千日デパートビルの火災は、史上まれにみる大惨事となり、これらの種類の建物における防火対策の不備が、問題とされましたしたがって、この運動ではとくに百貨店地下街、旅館、ホテルなど多数の人の出入りする防火対象物における避難安全の徹底を図る。

②くらしのなかの防火再点検——

火災において、建物火災の大半以上は専用住宅、共同住宅で占められています

そこで、個人の家庭や職場で日常なにげなく使用しているもののうち、火災発生の危険性のある品物や器具を点検し火の元の安全を確かめるよう習慣づけるとともに、火災およびこれに伴う被害の発生防止のため、次の事項の徹底をする。

□たばこの投げ捨てと寝たばこの防止
□火気の使用場所の安全点検
□暖房器具の正しい使い方

猟銃事故の原因
扱い慣れと不注意
十一月一日から狩猟解禁

狩猟が、いよいよ十一月一日から解禁になりましたが、最近のガンブームを反映して、猟銃などによる人身事故が毎年ふえています

このため警察では猟友会や関係機関、団体などと協力して①猟銃などの不法所持の禁止②無免許狩猟の防止③狩猟時間および場所などの制限などを中心に、ハンターの指導や取締りにあたっていますしかし猟銃による事故は毎年各地で発生しています。この猟銃事故の原因をみると、猟銃の取扱上の不注意が多いようです。

そこでハンターはもちろん、家族やまわりの人たちも、次のことに注意して猟銃による事故を防ぎたいものです。

▽事前に法令や銃の取扱いについての知識をよく身につけておく

▽銃とタマは別々にして、カギのかかる堅固な保管場所に、よく保管する。

▽銃を手にしたら、まず最初にタマがこめられていないかどうかを、よく確かめる。

▽猟銃や空気銃の手入れをするときは、弾倉にタマがないことを確かめてから行ない、人を近づけない。

▽銃口を人に向けたり、他人に銃をさわらせないようにし、打つとき以外は、引きがねに指を入れない。

▽銃を持ち運びするときは、必ずタマを抜いて安全を確認してからケースに入れる。

▽発射するときは、落ち着いて獲物であることをよく確認してから発射する。

▽見とおしのきかないヤブや雑木林あるいはタマが、はね返るようなところ（場所）などに向けて発射しない。

▽狩猟に行くときは、からだの調子のよいときを選び、故障している銃や調子の悪い銃は使わないようにする。

働く婦人のための
〃勤労婦人福祉法〃

勤労婦人福祉法が、さる七月一日から施行されました。この勤労婦人福祉法は、勤労婦人の福祉の増進と地位の向上をはかることを目的とした法律です。

□勤労婦人は、職業生活と家庭生活を調和させ、母性を尊重されながら、性により差別されず、その能力を有効に発揮して、充実した職業生活を営むことができるよう、配慮されなければならない。

□また勤労婦人は職業人としての自覚をもち、すすんで能力を開発し、それを職業生活において発揮するよう努めなければならない基本的な理念として、このように定めています。

近年、婦人の職場進出は著しく雇用者総数の三分の一、約一千百万人に達しました。なかでも既婚婦人が、その過半数をしめています。これに伴い平均年齢は三〇・八歳に上昇しました。

これから勤労婦人の果たす役割りは、いっそう大きくなるとともに、婦人の生涯における職業生活の意義も、ますます高まってくるものと思われます。勤労婦人福祉法についてのお問い合わせは

鹿児島市山下町13番21鹿児島婦人少年室電話㉒八四四六番へ

「勤労感謝の日」ことし最後の祝日

十一月二十三日は「勤労感謝の日」法律で決められている国民の祝日は一年間に十二あり、この日でことしの祝日は全部終ることになります。

話題あれこれ

新郵便局の業務 十二月四日から

加治木郵便局の新局舎が、もうすぐ蒲生田通りに完成します。

○十二月一日（金）落成
○十二月四日（月）業務始め

加治木郵便局では、新局舎オープン記念行事として、十二月一日（金）から二日（土）の正午まで新局舎内で趣味の切手展、生花展小学生の習字展などを開きます。

ぜひ、この機会にみなさまがたのご参観をお待ちしますーと郵便局では、町民に呼びかけています

町営弓道場が完成 加中グラウンド内

加治木中学校の第二グラウンド（プールの横）に建設中の町営弓道場が、このほど完成しました。

この弓道場は、広さが四十平方メートルで射場は四人立ち。コースは公式距離の二十八メートル。施設費は九十万円（町費七十万円寄付などの浄財二十万円）で中西建設の工事によるもの。

現在、当町には町弓道会（安楽久志会長・会員九十六人）がありますが、これまでに適当な弓道場がなく、早くから町営の弓道場設置が要望されていたものです。

すでに中学、高校生など男女百二十人あまりが新道場で練習に励んでいます。

この完成によって町の弓道熱もこれから、ますます盛んになることでしょう。

駅で両陛下を奉迎 町内のお年寄り

町内のお年寄りは　このたびの天皇・皇后両陛下の行幸啓を加治木駅でお迎えしましたが、初日の十月二十日は、諏訪の赤崎ツネさんら十人が元気な姿で、両陛下を奉迎しました。

奉迎者のひとり須崎の小坂宗太郎さんは「ありがたいことで、もう、ないも言うこたごあはんナ」と感激していました。

赤崎　ツネ（九六）諏訪町
今中　ヤエ（九四）仮屋町
榎園　畩七（九一）諏訪町
小坂宗太郎（九一）須崎
恒吉ケサチヨ（九一）川内
小原　トメ（九〇）反土
川原　イト（八九）本町
岩下　ツタ（八九）岩原
阿久根マンギク（八八）朝日町
渡辺　キク（八八）萩原

高松宮妃殿下 竜門司焼きへ

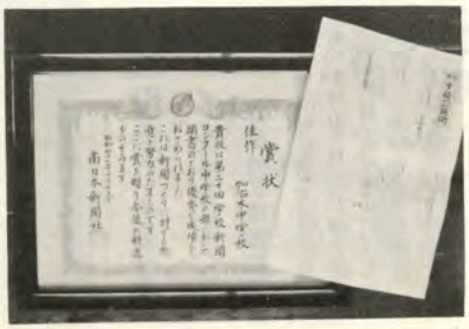
鹿児島国体からお帰りの高松宮妃殿下は、十月二十六日に町内の竜門司焼きのかま元をお訪ねになりました。

理事長の川原軍次さんや曽木町長らの出迎えをうけられたあと、陳列だなにある古い逸品をご観賞になり、形や肌など詳しい質問を川原さんになさり「これは非売品ですか…」と残念そうなご様子。

従業員の山下エイ子さんに「きれいにみがいていますね」と話しかけられ、工場内をご覧になったあと、珍らしい「のぼりがま」にはとくに興味をおもちのようでした

明るいご気性で　気さくな妃殿下は、おみやげに一輪差しと湯のみをお求めになり、わずか二十分でしたが、ご満足のようでした。

加中の生徒会新聞 コンクールに入賞



このほど、加治木中学校・生徒会の広報部発行「加中・生徒会新聞」が、第二十回県内学校新聞コンクール（南日本新聞社主催）に佳作入賞しました。

同校の生徒会新聞は企画、編集校正などいっさいを広報部の編集委員（六人）で行なっており、昨年に次いで、二度目の入賞。

広報部長の宮路淳一君（三年）は「経験がないのでどんな新聞になるか、できるまで心配で…。生徒会の先生にいわれて応募した。まさか入賞するとは思わなかったです。とてもうれしいですハイ。来年は批評にあった社会面に目を向けてやってもらいたいですー」

と、後輩への期待と入賞の喜びを話してくれました。

奮闘・辺川が二位に

はずんだ第24回町民体育祭

第二十四回の町民体育祭は、さる十月十日「体育の日」に加治木中グラウンドで行なわれ、二十一種目の演技や競技などで終日にぎわいました。

ことしは新しい種目として東西対抗の綱引きが登場、これは加治木の地区を縦に分けて行なうもので、前評判もあれこれ。対戦の結果、二対〇で東軍の初勝利となりました。

惜しくも勝ちをゆずった西軍にぜひとも来年の大奮闘を期待したいものです。当日の成績は次のとおりです。Bブロックの第二位、辺川地区の躍進が目立ちます。

＜Aブロック＞

優勝　錦江第一……一四二点
②　城北……一二三点
③　錦江第三……一一九点
④　城西……一一四点
⑤　城東……一〇四点
⑥　錦江第一……八三点
⑦　城南……四七点

＜Bブロック＞

優勝　永原第一……一二九点
②　辺川……一二一点
③　永原第二……一一五点
④　竜門東元……一一三点
⑤　竜門西浦……八五点
⑥　竜門西元……八四点
⑦　中野……六九点
⑧　竜門東浦……六七点

ご苦労さまでした。来年のご活躍を期待します。

両足をふんばってソーレ・イケ！

例年にない粒ぞろい

町畜産品評会

四十七年度の町畜産品評会は、さる十月五日、旧種馬所あとで開かれ、各大字から選ばれた種牛や肉牛、種豚など総数七十九頭が出品されました。

会場は出品者やその家族、家畜が根っから好きだという参観者などで、かねては広い会場もこの日ばかりは、ごったがえしの様相でした。なかでも、当日の出品牛のうち最大重量級ーといわれる中福良の岩穴口修さんのジャンボ肉牛（六百八十五キロ）が観衆の注目を集めていました。

審査員の評によると「ことしは例年にない粒ぞろいで審査には、まったく手をやいた。が非常に結構なことだー」と話していました

各種目ごとの優等入賞者は、次のとおりです。

□種牛一部
鶴田悟（小山田）中村正紀（西別府）桃木野清光（同）

□種牛二部
桃木野政男（西別府）鶴正男、（同）満留武二（小山田）前畠篤男（西別府）

□種牛三部
鶴　春美（西別府）外村政男（同）向江透（辺川）、冨秋辰己（小山田）岩穴口修（木田）外村秋男（西別府）

□種牛四部
鶴　春美（西別府）城直衛（同）中村正紀（同）扇園敬次（木田）

□肉牛去勢の部
増田新（木田）岩穴口修（木田）市野清見（小山田）

□肉牛おす
岩穴口修（木田）市野親義（小山田）下楠園正昭（木田）

□種豚の部
末吉君子（小山田）柚木邑子、（反土）内村辰二（西別府）柚木邑子（反土）河越鉄三郎（小山田）

□大字別の成績
▽種牛の部　①西別府　②木田　③小山田④辺川⑤反土⑥日木山
▽肉牛の部　①小山田②木田
▽種豚の部　①小山田　②反土　③西別府

入賞おめでとうございます。

当町から十五頭郡でも上位入賞

姶良地区畜産共進会

姶良地区畜産共進会は十月十九日と二十日の二日間、隼人町にある中央家畜市場で開かれました。

当町から出品した十五頭は、いずれも上位入賞という成績をおさめました。

□和牛一部
▽優等＝鶴田悟（小山田）中村正紀（西別府）▽一等＝桃木野清光

□和牛二部
▽優等＝桃木野政男（西別府）

□和牛三部
▽優等＝鶴春美（西別府）向江透（辺川）冨秋辰己（小山田）
▽一等＝外村政男（西別府）岩穴口修

□種豚の部
▽優等＝末吉君子（小山田）柚木邑子（反土）▽一等＝内村辰二（西別府）柚木邑子（反土）
▽二等＝河越鉄三郎（小山田）

□系統豚の部
▽一等＝末吉君子（小山田）

大役を果たした69人

「中学時代の思い出です」

五十年に一度・太陽国体の炬火リレー

雨の中を走る加中チーム＝口ノ町中継地＝

太陽国体・秋季大会を彩る炬火は、二万八百三十八人にのぼる走者によって県下全市町村をリレーされ、国体会場の県立鴨池陸上競技場、炬火台に最終走者の北村裕子さんの手で点火され、大会終了まで燃え続けました。

会場やテレビで点火の瞬間にわきおこる拍手、感激をじかに感じたのは、この日のために風にふかれ雨にぬれ、秒きざみに走り続けた炬火リレーの走者やその関係者など国体、陰の立役者たちではなかったかと思われることです。

当町でも十月十九日に炬火が通過しましたが、朝からどんよりと曇った空も、ついに大粒まじりの冷たい雨となり最悪の炬火リレーとなりました。

溝辺町境から車で運ばれた炬火は、布越で当町区内の第一リレー竜門中チーム（吉田健一・三年）の持つトーチに点火され十一時二十分出発。夕もやを思わせるような雨の中を朱色の鮮光を吹き出しながら、五十年に一度しか見られないとさえいわれる炬火・神秘の火は、白煙を長く引きながら眼下にかすむ加治木の町なみに向って県道をひた走り。

口ノ町中継地で、加治木中チーム（新蔵克彦・三年）のトーチに点火中継、この付近から沿道の観衆もだんだん多くなり、端山ー蒲生田ー西町ー向江町にかけてギッシリ。激励にきた柁城小児童や加治木中生徒の声援もひとしきり高く、日の丸の小旗なども振られる。

錦江小前では同校の児童たちが炬火中継を見ようと超満員。ここで炬火は最終走者の永原中チーム（隈原俊司・三年）に中継。このころから雨が激しくなり、走者の顔や肩から雨が流れる。岩原街道から加治木ドライブインまで走行。

ここで待っていた姶良町長に東助役から「お願いします」と、引渡しのあいさつがあり、十一時五十五分、姶良町リレー隊に炬火を引き継ぎました。

加治木地区の最終ランナーでトーチを持った永原中の隈原俊司君は「待っているとき胸がドキドキした。拍手がずっと聞こえたので張り合いがあった。責任のある役目が無事に間違わずにできてうれしい。中学時代の思い出になります…」と話していました。

太陽国体も、明るく、たくましく、うるわしく、みごとな成績で無事に終わりました。炬火リレーに参加した男女六十九人の中学生たちは、それぞれに思い出の一つとして残り、やがての語り草となることでしょう。

炬火リレーに参加した三中学校の生徒のみなさん、ご声援くださいました沿道のみなさん、ご苦労さまでした。走者は次のとおり。

＜竜門中学校＞

吉田健一　内村明人　福元功
元山善裕　上野一郎　吉村正和
畠中良則　内村義行　川野加代子
薗田久美子　石野敏子　岩元茂保
榎園秀俊　東川内洋一　福元裕一
堂下哲郎　内村宏　渋谷詳子　宮
脇妙子　市来原みち子　脇真知子
猪俣れい子　竹崎愛子

＜加治木中学校＞

新蔵克彦　今薗広子　高田亮子
岩穴口みどり　川村弘美　東木い
づみ　内田敦子　川畑多喜子　大
久保千佐子　森山市子　寺師孝一
岩下悦郎　小牟礼勝志　瀬戸口昭
広　谷口洋志　上枝孝良　高原研
二郎　左近充隆志　川下浩二　海
老原忠男　岩穴口裕二　榎園昭博
吉田雅子

＜永原中学校＞

隈原俊司　蓬原千春　隈原千尋
神園隆志　永元国治　樗木考二
鶴成戚　鶴正弘　山下公子　大宮
路光子　末永未也子　上村和孝
享保栄昭　大山格二　久保田利秋
鹿屋信一　川床新一　山下佳子
小宮路ひとみ　堂森弘子　後藤つ
るよ　内村恒子　内村淳子

竜門句会

蔦の笛仰げば柿の落葉ふる　耕

やんまがやんまを追う
どこまでも空をひくく　禾陽

朝顔の蔓にいろがみ
ゆわえあり　玄洋

法師蟬鳴く下に張る
喪のテント　江南

白芙蓉萎めば赤き
ほてり保つ　斗南

鹿寄せの笛遠く聞き旅半ば　青鹿

よべ噴いて島さりげなし
秋の海　愛子

露けしや母の車の尾灯きゆ　夏江

冬の雲異人の白き墓並ぶ　待香

爽やかに装いて待てり
貴き君　ハナ子

婦人会だより

九月十五日「敬老の日」に町婦連の執行部は、町内の九十歳以上のお年寄り二十人を訪ね、慰問の品を贈りました。

わたくしども婦人会員としては敬老の日だけの敬老行為でないよう、日常の生活のなかで敬老精神を、こどもたちの「しつけ」の一つとして心がける必要性を話し合いました。

□□□

十月十日の町体育祭に、太陽国体マスゲーム「よかとこさつま」をおどっていただきました。そろいの波ゆかたのおどり、非常に好評でした。ご苦労さま。

□□□

町婦連執行部と常任委員は、きたる十一月十八日福山町の重障心身児施設オレンジ学園の一日奉仕を話し合いました。奉仕ご希望のかたは町婦連執行部にお申し出ください。当日は町婦連〃オムツ一枚運動〃の会員の善意を持参します。また、子ども用の帽子、くつ下、手袋なども子どもたちが喜びます。たくさんのご寄贈をお待ちします。

□□□

来年度の成人式をより有意義な方法で、新成人のかたがたに迎えていただくために、ことしの成人者と来年成人を迎える人たちに、①希望②反省をアンケートによって調査しています。お母さまがたのご協力をおねがいします。

□□□

県婦連協議会は、県の出かせぎ者援護協会と業務委託して、出かせぎ者のかたに対していろいろの特典のある援護協会への加入促進と、留守家族のかたの相談相手になることになりました。町婦連の役員が、そのご相談に応じます。

留守家族のかたがた、生活全般にわたる相談を部落婦人会長をとおしてお申し出ください。

その筋へのご連絡、その他お互いに助け合う連帯感をこの際つよめましょう。

〃〃〃〃〃〃 香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額　ご遺族　故人

一万円　城　岩沢シナ（夫義久）

三千円　仮屋　焼山良子（養父慶二）

五千円　弓削　本村重盛（父出卯）

五千円　菖蒲谷　鶴　重安（父浅右ェ門）

五千円　毛上　中原利光（父広）

五千円　萩原　宇都和義（祖母スマ）

二千円　端山　山崎サエ（夫嘉吉）

五万円　萩原　佐藤八郎（妻淑子）

五千円　迫ノ下　井上キミ（夫重志）

五千円　下新道　今村　勲（母ツナ）

育英奨学資金へ

一万円　城　岩沢シナ（夫義久）

一般寄付

一万円　端山　佐藤徳三（県外転出）

十月二十日までのご寄付を掲載しました。

随想 36

両陛下をお迎えして

曽木隆輝

秋の国体で両陛下をお迎えした加治木町は、きれいに清掃され、道ばたの花も美しく、木々のみどりは春に逆もどりしたように、陽に映（は）えていた。

町民のみなさんが、日の丸の小旗をふって、心からの奉迎に両陛下はお顔をほころばせて、手をふってお答えになった。

昭和二十四年五月、戦後傷あともまだいえないころ天皇を加治木にお迎えしたとき、私は加治木高校の正門前からグラウンドのスタンドまでご案内した。戦死者遺族、引揚者、戦災者、高齢者その他に十三カ所でお声をかけられた

ながい戦争で悲しみや悩みに耐えてきた町民は、手放しで泣いた陛下もお顔をこわばらせて心なしか、ほほの筋肉がけいれんしておられるのを見た。

あのときにくらべ、このたびの陛下は、大部お気軽におくつろぎのようにお見受けした。お忙しいご日程のなかに、十月二十五日ふたたび加治木駅においでになり空港へと向われた。町民一同お元気な両陛下に、お名残りを惜しみながら万歳を唱えて奉送申しあげた

加治木が空港の玄関口となっただけ、連日皇族はじめお客の往来がはげしく、警察も駅も県出先や役場、さては自治会長、老人クラブ、婦人会などの役員がたも交通安全協力委員のひとたちなど、心づかいはひととおりでなかった。国体選手百人あまりの宿泊を引き受けられた町内の各旅館はテンテコ舞いだったが、献身的に奉仕してもらった。

国体に本町から役員のほか、教員や生徒など十数人の選手もよく活躍し、三中学校の生徒の炬火リレー、両高校生の音楽隊や放送係太鼓おどりや婦人会員の集団演技などで国体は、はなやかに盛りあげられ、すばらしいスポーツの祭典は効果満点で終了した。

さてスポーツは、国体で万事終わったのではない。これをスタートに私たちは体育の向上を図って行きたいものだ。

ことしから町教育委員会に体育保健課を設けたのも弓道場を新設したのも総合グラウンドを造ろうとして地権者の協力を得て、用地買収をすすめているのも、みなさんの体育を推し進めようとする念願からにほかならない。

両陛下をお送り申しあげた私は、こんなことを改めて思うのだった。